

経済倶楽部での9年を振り返って

奈交サービス株式会社
取締役社長

竹中 史郎

この度、奈良県経済倶楽部の副会長を退任させていただくにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

改めまして、平成23年から9年間の長きにわたり、菊池会長様をはじめ理事・監事、さらには、会員皆様に支えられまして大過なく職責を全うさせていただきましたことを衷心よりお礼申し上げます。

振り返りますと、この間に於きましては、当経済倶楽部にとって大きな変遷の時期に当たっていたように感じています。その一つが、新公益法人制度への移行であります。確か、私が入会させていただいた平成23年5月の通常総会で「一般社団法人」への移行が決議され、以後、翌年の総会に新定款案を示すため、全く知識のなかった段階から制度改革特別委員会に参加し、既存会員の拠出金の扱いはどうなるのか等と丁々発止の議論もあって25年に無事移行終了したことが一番の思い出です。

二点目は、なんと言っても経済倶楽部が平成30年に創立70周年を迎えたことです。この周年に当たり記念事業として、平成28年から総務委員会で会館のリニューアル工事の検討に携わることとなりました。設計会社さんからの施工内容や工事見積を聞くことから始まり、費用をどのように事業予算に組み込んでいくとか非常に高額となりますので、工事を各事業年度に振り分けなければなりませんし、また、会館運営にできるだけ影響の出ないように工事をどの時期に実施するか等と何度も委員会を重ねたことが印象的です。そして、30年7月20日に70周年記念式典の日を迎えました。凡そ300名近い参加を得ての記念講演会の後、ホテル日航奈良にて、来賓、会員180名もの方々をお迎えし、記念式典を無事挙行することが出来ました。式典を締め括るにあたり、僭越ながら、私が万歳三唱の音頭を取らせていただいたことは、生涯の思い出となりました。

次に、火曜午餐会にも思い出深いものがあります。午餐会では、倶楽部入会以降幹事を仰せつかり数か月に一度司会進行をさせていただきました。これは、普段から人前で話しすることが苦手でありました私に適当な度胸を植え付けていただきました。そして何よりも、各界か

らの講師の講演内容が、仕事をしていくうえで大変参考となりました。

以前、四国八十八ヶ所霊場会の公認先達の方のお話を聴き、ちょうど会社で教育を担当していた折で、早速、翌年の新入社員研修に霊場巡りの一部を取り入れ実施しました。引率した教育担当者から、かなりハードであったが有意義な研修だったと聞かされました。また、菓子作りのお話を拝聴した時は、会社においてオリジナルブランドでお土産物を作れないかと検討していた時だったので、講演してくださった方を訪問し協力を得て、当社独自のお土産物を誕生させる事が出来ました。等などと、本当に午餐会の講演は、仕事上も大いに役立ち、何よりも私自身の見聞を広めてくれることとなり、長年参加させていただきましたことに感謝しています。

さらに、見聞を広めるという観点では、春と秋に実施される視察研修と文化啓発事業の視察旅行であります。視察研修では、毎回一味違った施設（例えば、博物館、美術館、企業の記念館等）を必ず行程に入れますので、見聞を広めることに加え、教養や感性を高めることになったと感じています。また、視察旅行では、私は、台湾北部、中部、及び、東部と三度訪問し、平成30年は九州の鹿児島、そして昨年は、再び海外のベトナム・ダナンに行かせていただきました。特に、台湾は日本人に対してフレンドリーな国であり一人でも街中を安心して散策することのできる国で、北投温泉、野柳岬特定区、故宫博物院、日月潭、阿里山、九曲洞、十分天燈上げ等などの思い出が尽きないところであります。本当にいい体験をさせていただきました。

このように、奈良県経済倶楽部在籍中には、語るに尽きない様々な非常に密度の濃い経験をさせていただき、私の貴重な財産となりました。改めまして、奈良県経済倶楽部にご縁をいただきましたことを感謝申し上げ、御礼とご挨拶にさせていただきます。

